さめがわ

［広報］

11
November 2017
第763号
平成29年11月1日発行
（毎月1日発行）

Public Relations SAMEGAWA



■特集

30年のあゆみ
高原の鮫川うまいもの祭り





おかげさまで30年
高原の鮫川うまいもの祭り







「第30回高原の鮫川うまいもの祭り」は10月15日(日)、鹿角平観光牧場で盛大に開催されました。前日まで降っていた雨も上がり、会場は村内外から来た多くの参加者でにぎわい、バーベキューや村内産の野菜などをふんだんに使った出店の料理に舌鼓を打ちました。一時降雨もありましたが、塙工業高校和太鼓部による演奏を皮切りに、恒例となったフリースタイルモトクロス(ＦＭＸ)のデモンストレーションやラッキーナンバーズの抽選、チームで挑むトライアスロンなどの多彩なアトラクションが会場を盛り上げ、30回記念の大じゃんけん大会では勝者に豪華賞品が贈呈されました。

昭和63年に始まった高原の鮫川うまいもの祭りは、今年で30回を迎えました。村の一大イベントとなったうまいもの祭り。その30年を振り返ってみましょう。

景観を活かして(昭和63年)

現在は観光牧場として、村の観光地の一つとなった鹿角平ですが、昔は採草地のみの利用でした。「この景観を活かして何かできないだろうか」と、当時の商工会青年部が中心となってイベントを企画したことが、うまいもの祭りの始まりとなります。

牛肉を食べることも貴重だった時代、広い草原でバーベキューというのは大変珍しく、趣向を凝らしたアトラクションも好評で、うまいもの祭りの参加者は毎年増加を続けました。また、高原で育てた地元の大根や白菜などの野菜は、「甘みがあっておいしい」と大変評判でした。

実行委員の試行錯誤(平成13年～)

こうして盛り上がりを続けたうまいもの祭りですが、地元農家の減少や牛肉やバーベキューが一般的になるなど、環境の変



恒例となったフリースタイルモトクロス。今年もライダーが華麗な技で会場を盛り上げました



塙工業高校和太鼓部が、気合の入った演奏で会場を沸かせました



今年2回目となったトライアスロン。参加者は泥だらけになりながらも最後まで走り抜きました



30回を記念した大じゃんけん大会。豪華賞品をかけた熱い勝負が繰り広げられました



毎年恒例のラッキーナンバーズの抽選。雨の影響か、会場の当選率は例年よりも高かったようです



中学生のボランティアも、売店や駐車場など会場のいたる所で活躍しました

化により、次第に来場者が減少する時期もありました。実行委員会でも毎年様々な企画を考えて対応しましたが、お客さんを呼ぶことは簡単なことではありませんでした。

FMXの登場（平成21年～）

一時は開催すら危ぶまれたうまいもの祭りでしたが、フリースタイルモトクロス（FMX）の登場で風向きが変わりました。村内に練習場を構えるモトパーク森と鮫川で技を磨き育ったライダーたちの協力により、鹿角平でFMXの披露が実現しました。地元産品を紹介するお祭りにバイクはどうなのか、と当時は議論もありましたが、参加者からの評判も良く、今ではFMXは、なくてはならないアトラクションとなりました。

30年を振り返る

うまいもの祭りは、多くの人たちの協力、努力に支えられておかげで30年間続けることができました。次のページからは、写真で30年を振り返ります。

30 YEARS 写真で振り返る



紙飛行機を投げる参加者。凧揚げなども行われました(S63年)



丘の上に用意された150の席はすぐに満席になりました(S63年)



乗馬コーナーには1日中長蛇の列が並びました(H5年)

INTERVIEW うまいもの祭りを聞く

うまいもの祭りの立ち上げ時の苦労と、祭りを続けることの難しさをうまいもの祭り開催時から関わってきた大樂勝弘村長と、うまいもの祭り実行委員長の関根政雄商工会長にインタビューしました。

うまいもの祭りの30年間を聞く



鮫川村長　大樂勝弘
Katsuhiro Dairaku

村の素晴らしい景観をもっと知ってもらいたい

今年もうまいもの祭りを盛大に開催することができました。準備や片付けなど、たくさんの協力をいただきながら、村民みなさんが一丸となって取り組んできたおかげで、無事に30回目を迎えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

鹿角平は84ヘクタールに渡って広がる牧草地で、そこから見渡す景色は言いようのないほど素晴らしいものです。しかし、以前は観光地と言う認識はなく、採草地として利用するだけでした。

そこで、村内の「うまいもの」を一堂に集めてお祭りをすれば村をもっと知ってもらえると考えたのです。「村の素晴らしい景観をもっと知ってもらいたい」という思いからうまいもの祭りは始まりました。

それからも時代のニーズに合わせてアトラクションを考えるなど、実行委員の皆さまの知恵と努力により、うまいもの祭りは「鮫川の顔」と言えるほど立派なものになりました。村の誇れる伝統行事です。商工会青年部をはじめ若い人たちの企画力を信じて、これからも村全体で応援していく体制で臨みたいと思います。

うまいもの祭り30年の歴史

昭和63年（第1回）	10月16日、鹿角平観光牧場（天文台側の丘の上）を会場に、初めてうまいもの祭りを開催。
平成5年（第6回）	力自慢人間バーベキューを実施。おにぎり丸かじりなど多彩なイベントも同時開催。
平成10年（第11回）	台風のため、農業者トレーニングセンターで実施。福島ＦＭの公開録音を開催。
平成11年（第12回）	奥州鮫川太鼓の和太鼓演奏が始まり、祭りを大いに盛り上げる。
平成13年（第14回）	干し草のステージ歌合戦を実施。ラッキーナンバーズもスタートし、村内のうまいものを参加者に配布、特産品のＰＲをする。
平成15年（第16回）	干し草投げ選手権大会がスタート。畜産の村ならではの干し草を使って、力自慢たちが距離を競った。
平成19年（第20回）	開催20回を記念し、チケットを２０００円で販売。



タケカワユキヒデさんのライブが行われ、園児と一緒に歌う場面も(H20年)



第10回うまいもの祭。一番の人気企画だった「人間バーベキュー」(H9年)



地酒「やまぶき」を哺乳瓶で早飲みする参加者(H7年)



定番となったフリースタイルモトクロスは第22回から始まりました(H21年)



第16回から20回まで行われた干し草投げ選手権(H19年)



第９回まで行われた「おのぎり丸かじり」(H8年)

地元を愛する気持ちを育む機会へ

これからのうまいもの祭りを聞く



うまいもの祭り実行委員長
村商工会長　関根政雄
Masao Sekine

イベントは人をつくり、成長させてくれます。今年のうまいもの祭りは途中で一時雨に降られましたが、これにいかに対応するか知恵を出し合い、私自身も学ぶ所がたくさんありました。

最近のうまいもの祭りでは中学生のボランティアも非常に頑張ってくれています。イベントを通じて鮫川の将来を担う子どもたちが、地域のことについて考え、村を愛する気持ちを育んでくれる機会になることを期待しています。

うまいもの祭りをきっかけに村へ来た人たちが、再び来村する機会をどうやって作り出すかが今後の課題となっています。村の農産物やさざり荘などの特色と合わせて、地域のにぎわい作りの一助となるように、これからも企画や運営方法を模索していきます。

また、準備や片付けなど裏方で頑張っている人たちのおかげで毎年うまいもの祭りを続けることができます。そうした人たちの負担をいかに軽減できるかが、今後も末永く開催するための鍵になると考えています。会場となる広場や設備の改良についても検討を続けて参ります。

平成20年（第21回）	平成21年（第22回）	平成23年（第24回）	平成25年（第26回）	平成27年（第28回）	平成29年（第30回）
こどもセンターの園歌を作詞した歌手のタケカワユキヒデ氏を招き、ライブを開催。こどもセンターの園児たちとの共演も実現した。	丸太早切り競争とＦＭＸフリースタイルモトクロスがスタート。丸太早切りでは、豪華賞品をかけてステージが白熱し、ＦＭＸでは、バイクが広大な草原の上に広がる空中を舞う姿で観客を魅了した。	東日本大震災後初の開催。震災復興チャリティーバザーを実施し、収益金を社会福祉協議会に寄付。	鮫川中生徒による壇の岡響き太鼓がスタート。力強い演奏でステージに華を添えた。また、鮫川中生がボランティアとして参加し、祭りを裏側から支えた。	壇の岡響き太鼓に加え、塙工業高校の和太鼓部も競演。村のゆるキャラ「ゆうきくん」も登場した。	開催30回目。雨天の中、大じゃんけん大会、トライアスロン、ＦＭＸなどの特色あるイベントが催され、大いに賑わった。

平成28年度決算報告

むらの家計簿

村の平成28年度の決算がまとまり、９月中旬に行われた第５回村議会定例会で認定されました。一般会計は、歳入が35億5,386万円、歳出が33億9,526万円で1億5,860万円の黒字となりました。今月は、平成28年度決算のあらましをお知らせします。

一般会計 歳入

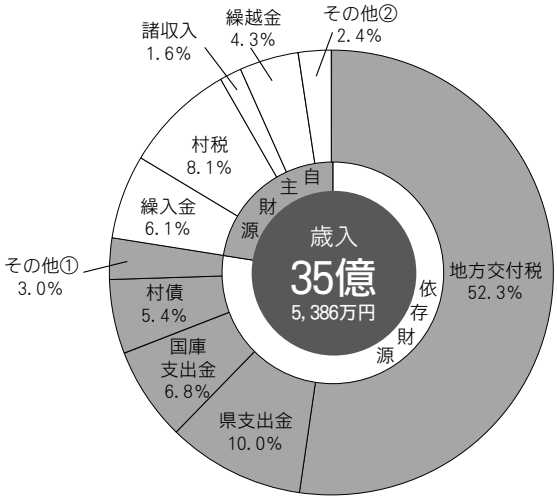
依存財源が減少し、全体の77・5％に

一般会計の歳入総額は、前年度より3億7129万円の減となりました。これは、国庫支出金や県支出金および配当割交付金などの減少によるものです。

自主財源の中で最も多いのは村税で全体の8・1％を占め、前年度と比較すると1357万円（5・0％）の増となりました。これは、村民税の法人分や固定資産税、軽自動車税などの増によるものです。次いで、繰入金は各種基金から所要額を繰り入れたため、前年度より1751万円（8・7％）増加し、全体のうち6・1％を占めました。

次に、歳入全体の8割弱を占める依存財源は、およそ6割が地方交付税ですが、普通交付税および特別交付税、震災復興特別交付税が減少したため、前年度より7737万円（4・0％）の減となりました。

また、国庫支出金は、社会資本整備総合交付金や農業基盤整備促進事業費補助金などの減少により、前年度より1億4465万円（37・4％）の減となりました。県支出金は、携帯電話等エリア整備事業補助金、ふくしま森林再生事業交付金、乳幼児医療費助成事業補助金などが減少したため、前年度より8511万円（19・4％）の減となりました。



■会計別決算の状況

会計別	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	35億5,386万円	33億9,526万円	1億5,860万円
特別会計	14億4,598万円	13億8,897万円	5,701万円
国民健康保険（事業勘定）	5億8,912万円	5億6,073万円	2,839万円
国民健康保険（直診勘定）	6,751万円	6,162万円	589万円
簡易水道事業	1億5,433万円	1億4,903万円	530万円
村営バス事業	1,163万円	973万円	190万円
集落排水事業	3,510万円	3,212万円	298万円
介護保険	4億3,544万円	4億2,665万円	879万円
交流施設	1,554万円	1,207万円	347万円
学校給食センター	1億 307万円	1億 285万円	22万円
後期高齢者医療	3,424万円	3,417万円	7万円
決算総額	49億9,984万円	47億8,423万円	2億1,561万円

一般会計 歳出

土木費が約49・9％の大幅な減少

歳出総額は前年度に比べて3億756万円（10・0％）の減少となりました。

最も多くの割合を占めたのが総務費でしたが、前年度と比較すると2904万円（3・0％）の減となりました。これは、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業などの減少や国勢調査が前年度に完了したことによ

お金の使いみち

村は、復興計画に定める諸政策により村民の健康を見守り、風評被害の克服や産業の復興を後押しするさまざまな事業を展開するとともに、第4次振興計画に定める事業の実現のため、財源確保に工夫を凝らし、費用対効果を見極めて各種施策を進めてきました。

平成28年度に実施した主な事業を紹介します。



スクールバス購入事業
1,544万円

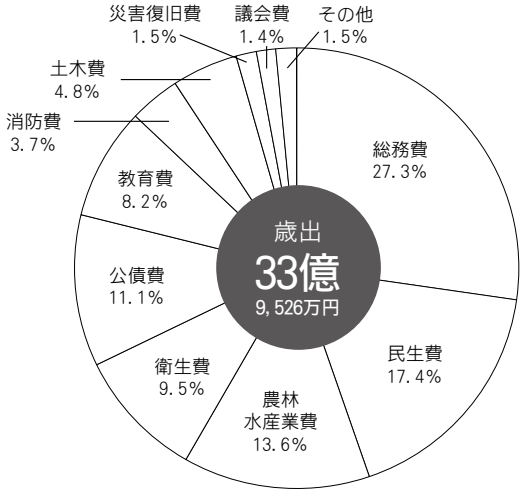
児童・生徒の安全な交通手段を確保するため、へき地児童生徒援助事業費補助金と辺地債によりスクールバス1台を更新しました。



災害復旧事業
5,219万円

平成28年8月に発生した台風9号により被災した道路、河川、農業施設などの災害復旧工事を実施しました。

よるものです。
　次いで、民生費が前年度に比べて6021万円(9・3%)減少し、全体の17・4%となりましたが、これは、高齢者生活支援事業などが減少したためです。次に多いのが農林水産業費で、前年度に比べ6349万円(12・1%)減となり、全体の13・6%を占めました。これは、ふくしま森林再生事業などが減少したためです。土木費は、前年度に比べ1億6158万円(49・9%)の減となり、全体の4・8%となりました。これは、公営住宅整備事業が前年度完了したためです。



特別会計
9つすべての会計が黒字で決算

　特定の事業を行うために一般会計と分けて経理する特別会計は、国民健康保険(事業勘定、直診勘定)、簡易水道事業、村営バス事業、集落排水事業、介護保険、交流施設、学校給食センター、後期高齢者医療の9つがあり、28年度は、全体で歳入が14億4598万円(前年度比3・4%減)、歳出が13億8897万円(同0・5%減)となり、5701万円の黒字となりました。

平成28年度 財政状況 健全財政を維持
財政健全化判断比率・資金不足比率を公表

　地方公共団体の財政健全化に役立てることを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、新しい財政指標を平成19年度決算から公表しています。
　この法律に基づき、毎年度4つの健全化判断比率（①実質赤字比率／②連結実質赤字比率／③実質公債費比率／④将来負担比率）および公営企業ごと（簡易水道・集落排水）の資金不足比率について、村監査委員の審査を受け、議会に報告し公表しなければならないこととされています。
　本村は全ての値が基準値を下回り、実質公債費比率および将来負担比率においては前年度より値が改善されていることから、健全財政を維持していることがわかります。

■財政健全化判断比率

指　標	鮫川村の指標	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	40.0%
実質公債費比率	5.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	—

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字額がないため「－」で表示
※将来負担比率は算定されないため「－」で表示

【用語解説】
■**実質赤字比率**…普通会計（本村の場合は、一般会計および村営バス事業、交流施設、学校給食センターの3つの特別会計が該当）の赤字額の収入（標準財政規模）に対する割合■**連結実質赤字比率**…全ての会計の赤字額の収入に対する割合■**実質公債費比率**…収入に対する公債費の割合。過去3年間の平均値を使用■**将来負担比率**…将来見込まれる負債（地方債の償還金や退職手当支給予定額など）の収入に対する割合

■資金不足比率

会　計　名	鮫川村の指標	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
集落排水事業特別会計	—	20.0%

※2つの会計ともに収支が黒字のため、資金不足比率は生じませんでした。



携帯電話等エリア整備事業　3,100万円
携帯電話の不通話地域を解消するため、官代地区に通信設備（NTTドコモおよびKDDI）を整備しました。



保育業務運営事業　10,414万円
就労などで、子どもを保育することができない保護者に代わって、子どもを保育するために保育園を運営しました。



村道維持補修事業　6,148万円
舗装から一定年度経過し、路面損傷が著しい路線（3路線）の舗装補修を行い、より安全に通行できる道路の整備に努めました。

認定こども園移行へ向け検討始まる



村は、10月4日（水）に「第1回鮫川村認定こども園移行検討委員会」を開催しました。

関係者ら8名で組織された委員会では、こどもセンターの認定こども園への移行に向けた課題や変更点などについて、検討を行っていきます。

認定こども園とは

社会環境や家族形態の変化に対応することを目的に、国は「就学前の子どもの教育、保育の総合的な提供に関する法律（認定こども園法）」を平成18年に制定し、従来の幼稚園・保育所の両方の機能を持つ新しい仕組みづくりを推進してきました。認定こども園は、小学校就学前の子どもに対する「保育」「教育」の提供と、保護者に対する「子育て支援」の提供など、従来の幼稚園と保育所の両方の役割を果たします。

また、平成24年の法改正により、幼稚園（学校教育法）と保育園（児童福祉法）の認可が、「幼保連携型認定こども園」として、指導監督、財政措置などについて一本化できるようになりました。

移行に伴う変更点について

さめがわこどもセンターでは、これまで「鮫川幼稚園」と「鮫川保育園」、「子育て支援センター」が連携を図り、幼稚園機能と保育園機能の提供を同一施設内で行ってきました。認定こども園への移行により、これらが同一の運営体制となることで、より柔軟な対応が可能となります。

また、利用認定や提供サービスの見直しも検討しています。委員会は移行について「できるだけ保護者の負担にならないように取り組む」としており、こどもセンターでは、11月下旬に保護者向け説明会の実施を予定しています。

問こどもセンター☎29-1010／村住民福祉課☎49-3112

第48回衆議院議員総選挙

第48回衆議院議員総選挙は、10月22日（日）に村内7つの投票所で投票が行われ、村公民館で開票・集計作業が行われました。当日有権者3072人に対し、2228票（72・5％）の投票がありました。このうち、期日前投票は1364票（44・4％）で、県内の町村部で最も高い投票率でした。

小選挙区選挙・比例代表選挙の結果および各地区の投票率は次のとおりです。（速報値）

【小選挙区選挙】

氏名	届出政党	得票数
橋本けんじ	日本共産党	115
上杉けんたろう	自由民主党	1037
げんば光一郎	無所属	1038

【比例代表選挙】

政党名	得票数
公明党	118
日本維新の会	45
日本のこころ	25
社会民主党	47
日本共産党	149
幸福実現党	8
自由民主党	901
希望の党	499
立憲民主党	291

鮫川の郷土料理を楽しむ会を開催

村の「まめで達者な村づくり」事業は、大豆、じゅうねんの栽培をはじめとして、加工から販売までの新たな産業づくりを進展しています。また、食への安心・安全が人々の関心を集めている中で、豊富な有機資源を活用した「有機の里づくり」も進めているところです。

村づくりを広く知っていただくために、今年も「鮫川の郷土料理を楽しむ会」を開催します。村の「食の魅力」「食育」について考える機会としてご家族みんなでおいでください。

日時 11月12日（日）12時～13時30分

場所 村公民館　大集会室

入場券 ▼小・中・高校生…200円▼大人…500円
※先着150名

購入方法 11時から公民館ロビーで入場券を販売します。入場券の購入はお一人様1枚とさせていただきます。代理の人による購入はご遠慮ください。

内容 村内で生産された農産物をふんだんに使った料理（主食・主菜・副菜・汁物・デザート・飲み物・過去のアイディア料理コンテスト入賞作品など）を楽しむパーティー。会場内にはたくさんの料理が並び、村の食の豊かさを実感することができます。

その他 会場で提供される農産物は、村の放射性物質分析機器で検査し、基準値以下の作物のみを使用します。

問 村農林商工課☎49-3113







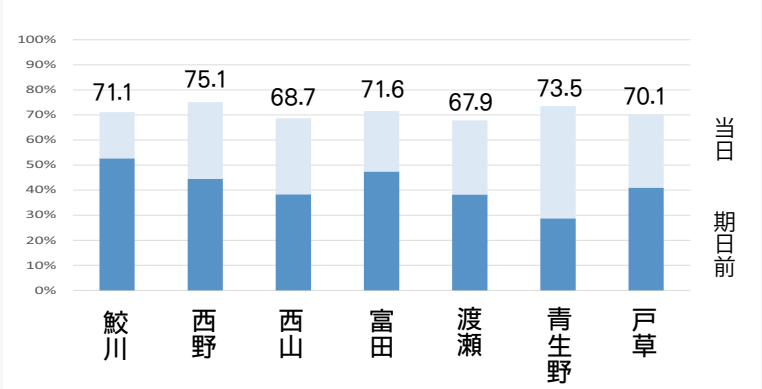
【投票率】

72.5%

2,228／3,072
投票数／有権者数

期日前投票は1,364票(44.4%)でした。

【投票所別投票率】（不在者投票を除く）



鮫川村文化祭

Cultural Festival in Samegawa

■期間中の催し

行事名	日　時	会　場	内　容	実施団体
第22回 村少年主張大会	11月3日（金・祝） 9時～	村公民館 （大集会室）	小・中学生や高校生が日ごろ考えていること、訴えたいことを発表	村青少年健全育成推進協議会
第16回 音楽発表会	11月3日（金・祝） 11時30分ごろ		村内の小・中学生などによる合唱	村教育委員会
鮫川の郷土料理を楽しむ会	11月12日（日） 表彰式：10時30分～ 郷土料理を楽しむ会：正午～	村公民館 （大集会室）	各種コンテストの表彰式後、郷土料理を楽しむ会を開催	村里山大豆特産品開発プロジェクトチーム
ふる里文化芸能 クラブ芸能発表会	11月23日（木・祝） 9時～13時	村公民館 （大集会室）	加盟団体による、歌や踊りなどの発表会	ふる里文化芸能クラブ
第70回 鮫川村文化祭	12月1日（金）～ 12月5日（火） 9時～19時 ※5日は正午まで	村公民館	一般作品展 公民館事業作品展 高齢者作品展 小中学校児童生徒作品展 こどもセンター作品展 修明高校鮫川校作品展 やまぶきの会作品展 文化団体作品展示（アクリル画愛好会、奥の鮫川文芸クラブ、パッチワーク愛好会、雅心書院） 防火ポスター作品展 みやぎ会作品展 フォトコンテスト作品展	公民館

一般作品展の作品を募集します

第70回鮫川村文化祭において、展示する文化団体に属さない人の一般作品を募集します。

対象　村内居住者

募集作品　絵画、手芸、写真、陶芸、生け花、木工、竹・わら細工など

募集期間　11月17日㊎まで（土日、祝日除く）

応募方法　応募用紙に必要事項を記入し、村公民館に申し込んでください。

作品搬入　11月30日㊍13時から16時までの間に会場に直接搬入し、飾りつけをお願いします。

作品搬出　12月5日㊌13時30分から搬出してください。

その他　公民館では、事前に作品をお預かりすることはできません。各自で搬入・搬出をお願いします。

問村教育委員会教育課
☎４９－３１５１



昨年の音楽発表会の様子



アイディア料理コンテスト
最優秀賞
ころねばライス

■材料（４人分）

【具】

玉ねぎ（みじん切り）	…150g	温かいごはん	…500g
枝豆	…70g	小麦粉	…大さじ２
とろけるチーズ	…100g	納豆	…２パック
塩・こしょう	…少々	油(炒用)	…大さじ２

【衣】

サラダ油（揚げ油）	…適量	小麦粉	…適量
溶き卵	…適量	パン粉	…適量

【仕上げ】

青のり	…適量	ソース	…適量

■作り方

❶枝豆は茹でてから豆を取り、ザクザク切る。
❷フライパンに油を入れ、玉ねぎ、ごはん、枝豆、小麦粉、チーズの順で炒め、最後に納豆、塩・こしょうで味を調える。
❸❷をバットなどにあけて粗熱を取る。
❹❸を丸めて、小麦粉、溶き卵、パン粉の順に衣を付ける。
❺揚げ油を170～180度に熱し、❹の表面がカリッとするまで揚げる。
❻器に盛り、青のりを散らす。お好みでソースをつけて食べる。

応募総数24点から最優秀賞が決まる
アイディア料理コンテスト審査会

アイディア料理コンテスト審査会は、10月25日に村公民館で、山際食彩工房の代表で福島県食農サポーターなど多くの役職を務める山際博美さん（会津若松市）を審査員長に迎え、行われました。今年は「達者の納豆」をテーマに、主食からデザートまで様々な料理が応募されました。そして、鮫川村長賞（最優秀賞）に選ばれたのは、遠藤きくえさん（上耕地）の「ころねばライス」となりました。

その他の受賞作品は次のとおりです。（敬称略）▼県南農林事務所長賞＝「納豆そぼろのクレープ巻き」永沼ちひろ（水口）▼村商工会長賞＝「奉書煮with納豆」小山智加江（宿ノ入）▼ＪＡしらかわ鮫川支店長賞＝「納豆ライスバーガー」修明高校鮫川校フードデザイン３年▼福島民報社賞＝「納豆クッキー」修明高校鮫川校家庭部Ｂチーム▼福島民友新聞社賞＝「なっとうマン」矢吹照子（塩倉）



遠藤きくえさん（54）渡瀬字上耕地

出品者から一言

最初はコロッケをイメージして作りました。形をどうしようか考えていた時に、たこやきの容器と出会い、可愛く丸めるアイディアが浮かびました。作る際は、納豆を入れてから炒めすぎないのがポイントです。

講　評



審査員長
山際食彩工房　代表　山際博美

昔なつかしい味
×
新しい感覚

今回のテーマである納豆の特性、「ねばり」と「香り」をどうするか、皆さま悩まれたと思います。納豆は、炒めたり湯がいたりすることで扱いやすくなります。

そして、今回の審査では「昔ながらの食べ方」と「現代のファーストフード的な食べ方」をどう連動させるかが重要なポイントになりました。最優秀賞はその意味で、非常に良かったと思います。

ふくしま駅伝 11月19日㊐午前7時40分スタート

若い力を機動力に上位を目指す

第29回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は11月19日㊐、しらかわカタールスポーツパーク（白河市）をスタート、県庁前（福島市）をゴールとする16区間、94・8キロのコースで行われます。

今年で28回目の出場となる鮫川村チームは、中学生の選手を中心に、「挑戦」という言葉をキーワードに一人ひとりが強い気持ちを持って大会に挑みます。

9月1日には「ふくしま駅伝鮫川村チーム結団式」を村公民館で開催。参加した選手たちは、チーム一丸となって走り抜くことを誓いました。今後は、大会に向けてさらに練習を重ね、上位入賞を目指します。

鮫川村民の代表として出場する選手たちに、みなさんの応援をお願いします。

団長

大橋邦次
村体育協会会長

監督

阿久津光市
さめがわスポーツクラブ

コーチ

舟木敏勝
村スポーツ推進委員

コーチ

目黒信一
村スポーツ推進委員

主将

前田大樹
白河広域市町村圏消防本部

選手

鈴木　悟
鮫川たんぽぽの家

選手

中島雅隆
スズキ製作所

選手

圓井靖彦
陸上自衛隊(神町自衛隊)

選手

圓井敏彦
ALSOK 福島㈱

選手

芳賀弘康
東洋大学

選手

鈴木　蓮
東京商科・法科学院

選手

芳賀悠介
信州大学

選手

生田目大輔
学法石川高３年

選手

円井純一
鮫川中３年

選手

舟木　陽
鮫川中３年

選手

北條佑奈
鮫川中３年

選手

坂本花梨
鮫川中３年

選手

高野敦輝
鮫川中２年

選手

舟木朝陽
鮫川中２年

選手

蛭田樹璃
鮫川中２年

選手

須藤由衣
鮫川中２年

選手

須藤玲奈
鮫川中２年

選手

坂本大夢
鮫川中１年

選手

宗田怜也
鮫川中１年

選手

鈴木　結
鮫川中１年

教育長コラム

読み取る習慣を付けよう！

毎日の生活では文書、広告、新聞など活字で書かれたものを多く目にしますが、最近、学生、若者の中で文書や説明書などを読みこなせなくなったということが話題となっています。このことは以前からあったのですが、問題は経営者・使用者側から出てきていることです。

仕事では、職種によっては同僚から直接教えを受けられなくなってきています。そのような中で、パソコンなどの高度な機器や高価な施設・設備を取り扱う機会は増えており、試しとして高価な機器を壊すことはできません。説明書を読み取る能力が必要とされています。

こうしたことに備え、文章を読み取り、考えを深め、広めることができるように努めています。

それでは、次の文はどんな意味でしょうか。「ニワニハニワ、ウラニワニハニワ、ニワトリガイマス」

奥貫　洋

ぼく・わたしの夢　＜第29回＞　鮫川小６年生



齊藤　麗愛（れな）さん

音楽に関わる仕事に就きたい

１年生の頃からピアノを習っているので、将来はそれを活かして音楽の仕事に就きたいです。ピアノを始めたばかりの頃はドレミも何もわからなかったけど、曲を弾けるようになると、どんどん楽しくなりました。なかなか弾けなかった曲も練習を続けて、発表会本番で上手くいったときは本当にうれしかったです。これからも練習を続けて、好きな曲などを自在に弾けるようになりたいです。

プロ野球選手になりたい

DeNA ベイスターズの筒香選手のように、最後までバットを振り切ってスタンドまでボールを飛ばすプレーが目標です。３年生の時に、野球中継を見て「やってみたい」と思っていたところに、友だちから声をかけてもらって野球を始めました。イメージ通りのプレーができたときが楽しいです。試合も残り少ないですが、監督・コーチに言われたことを「ちゃんと」やれるように頑張りたいです。



森　陽輝（はるき）さん

学校だより（157）

鮫川小学校編

秋のさめっ子大活躍！
東白川郡陸上競技大会

10月３日（火）さわやかな秋空の下、５・６年生が白河陸上競技場ですばらしい活躍を見せました。結果は次の通りです。（敬称略）

▼４×１００ｍリレー（男子）第６位**▼１００ｍ走**（５年男子）第５位・小松琉眞**▼８０ｍハードル**（男子）第３位・武藤正樹（５年の部）、（女子）第６位・関根明花（５年の部）**▼１０００走**（男子）第６位・木村光佑**▼８００ｍ走**（女子）第１位・須藤百香**▼走り高跳び**（男子）第１位・水野陽亮（女子）第３位・小松レイ**▼ボール投げ**（男子）第４位・高野恒誠、第６位・森　陽輝

なお、走り高跳びに出場し優勝した水野陽亮さんは、大会新記録タイの１４５ｃｍを跳び、最優秀選手賞を受賞しました。



宿泊学習（４・５年生）

９月５日（火）・６日（水）の２日間、那須甲子青少年自然の家において、４・５年生が宿泊学習を行いました。１日目は、「沢歩きハイキング」や「キャンドルファイヤー」を行い、友達との絆を深めました。２日目は雨天のため、屋内で様々な「チャレンジゲーム」や「スタンツ」をして楽しみました。

修学旅行・見学学習

10月６日（金）に６年生の修学旅行と１～５年生の見学学習を行いました。見学学習の行き先は、１・２年生が福島空港と岩瀬牧場、３・４年生があぶくま鍾乳洞と星の村天文台、５年生が日産自動車いわき工場とアクアマリンふくしまでした。

今年度は青生野小と合同で修学旅行と見学学習を行いました。次年度の小学校統合に向けて、今後も交流活動を設定しています。今回の活動でも、親睦を深めることができました。



（文・写真／鮫川小学校）



たくさんの声援を受けて、一生懸命走る子どもたち

秋晴れに子どもたちの歓声ひびく
こどもセンター親子運動会

さめがわこどもセンターの親子運動会は、秋晴れが広がった9月30日、こどもセンター園庭で行われました。親子運動会は、鮫川保育園と鮫川幼稚園が合同で実施。競技（演技）では、玉入れやリレーなどのおなじみの種目のほか、クラスごとに多彩な種目が次々と披露され、子どもたちは声援を受けながら、元気いっぱいに園庭を駆け回りました。また、保護者対抗の綱引きやリレー、小学生による借り物競走なども行われ、参加者たちは楽しいひとときを過ごしていました。

秋の阿武隈高原を駆け抜ける
バイクラリーツーリングに県内外から150台が参加

昨年に続いて開催されたProject Doors主催のバイクラリーツーリング「Door of Adventure」は10月7日、8日の2日間、鹿角平観光牧場を拠点に、村内外に設けられたコースで行われました。参加者はコンパスなどを頼りに2日間合わせて約300kmを走破。1日目の夕食には地元食材を使った20種類以上の料理も提供され、参加者からは「すべて手作りということに驚き」「味とボリュームに大満足です」といった声も聞かれ、大会に花を添えました。



コースを完走し、泥だらけで帰着する参加者たち





迫力ある取り組みに沸く
西野区ふるさと相撲大会

赤坂西野区秋季祭礼の恒例行事「ふるさと相撲大会」は10月1日、名下地内の熊野神社境内で行われました。大会には地元青年会などから6人が力士として参加。競技では、連続で勝ち抜くまで続く「飛び3人抜き」や西野区の小学生31人による「ちびっ子相撲」、「初切相撲」「役相撲」などが次々と繰り広げられ、迫力のある取り組みに会場からはたくさんの拍手が寄せられました。

また、昨年から日本相撲協会立浪部屋関東後援会の協力を得て幕下力士も大会に参加。今年は天空海（あくあ）と越錦（こしにしき）の2人の力士が土俵に上がり、参加力士や子ども力士たちと、技が光る取り組みを披露し、鎮守の森を大いに沸かせました。

上_力士たちの激しい取り組みに会場が湧きました
下_本物の力士に一斉に挑むたくさんの子どもたち

地域・学校の歴史を振り返る
青生野小で最後の学習発表会

青生野小（藤田篤校長、8人）の学習発表会は10月22日、同校で開かれ、児童たちが日ごろの学習の成果を披露しました。来年3月に廃校が決まっている青生野小学校の集大成として催された今回の学習発表会は、「ラストフェスティバル」と題し、作文・主張発表、全校合唱・合奏などが披露されたほか、全校生徒による創作劇「青生野小ヒストリー～私たちの青生野小　いつまでも～」を通じて、青生野小の歴史を振り返りました。プログラムの最後には、児童、保護者、地域住民などが「ふるさと」を合唱し、体育館いっぱいに歌声を響かせました。

5・6年生による閉幕の言葉では、「残りの5カ月を大切にして、8人で最後まで頑張ります」という力強い言葉に、会場は拍手で包まれました。





上_全校生徒による創作劇。タイムマシンに乗って青生野小のいろいろな時代を旅する様子を演じました／**下_**全校生徒、教職員による合奏では、いきものがかりの「ありがとう」を演奏。今まで育ててくれた学校へ感謝の気持ちをのせて一生懸命演奏しました



一生懸命練習に励んだ生徒たちの歌声が会場に響きます

生徒たちの思いが結集
鮫川中の「壇の岡祭」

鮫川中（小林敏史校長、103人）の「壇の岡祭」は10月21日、同校で行われました。今年は「勇気～ふみだす一歩～」をテーマに、午前中は、意見文発表、英語弁論発表、クラス対抗の合唱コンクール、特設合唱および合奏の発表がありました。英語弁論発表では3人が登壇し、英語をすらすらと発表していました。午後には、総合学習で学んだことを披露したほか、有志による発表も行われ、生徒たちの思いが結集した学校祭となりました。

スポーツの秋！
各地区でスポーツ大会を開催

10月9日の体育の日にちなみ、10月は村内各地区の体育協会主催のスポーツ大会が開催されました。1日の赤坂東野・石井草区のバレーボール大会を皮切りに、8日には赤坂西野区、西山区、渡瀬区、青生野区、9日には赤坂中野区、29日には富田区でそれぞれ行われたスポーツ大会は、地域の子どもから大人まで幅広い年代が参加し、交流を深めながら汗を流していました。



西山地区ではクロリティ大会も行われ、石井利勝さん（大沢）が最高得点を記録

村民【随想】リレー ── 232

小林　利之さん

私は、この村が好きです



こばやし・としゆき●1985年８月生まれ。株式会社サポートシステム勤務、趣味はゲーム。好きな言葉は、悠々自適。赤坂中野字宿ノ入、32歳。

鮫川村で生まれ育ち早30年以上経ちます。昔から変わらないこの村は、とても居心地が良いです。

外の場所でも幾度かは生活してみましたが、この村ほどの安堵感を得ることはありませんでした。

私も二児の父となり、村に永住を決めました。居心地の良さはもちろんですが、子どもを育てる環境や、充実した子育て支援、土地の安さが決め手になりました。

子どもたちも自然豊かなこの土地であるがままに育っています。知らず知らずのうちに、今までできなかったことができるようになっていたり、私の知らないことを知っていたりと、驚かされることばかりで、私自身子どもたちから学ぶことの方が多いです。父として、子どもたちと共に成長していきたいと思います。

村では高齢化が進み、このままではただ衰退の道を進んでしまいます。若年層を村に定住させるために、村の土地の安さや充実した子育て支援など、他の市町村にアピールしたらどうでしょうか。

変わらなければならないこともありますが、変わらない良さというのもあります。

私は、この村が好きです。■

次号は、森田慎也さん（西山字水口）にバトンタッチ！

俳　句

木道や靴音ひびく草もみじ　中井　恒峯

早きかな吾妻山より雪だより　北條素人坂

この秋もコンベアに載る米袋　松本　精一

入場行進トンビも舞ってる運動会　前田　縫子

賑やかに月見ドロボー手の伸びる　山本　恵子

散り初むる桂黄葉や里の道　斎須　信子

コスモスを揺らし生徒ら駈けぬける　鈴木　米子

逃げ道は解散権という寒さ　山本五十鈴

短　歌

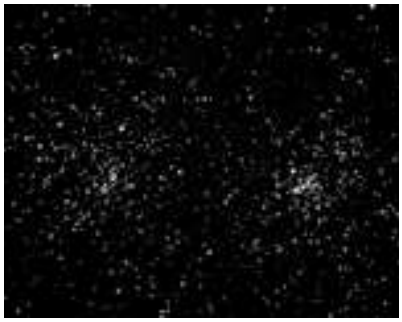
吹く風に稲穂は波打つ彼岸明け団子供えて御霊を送る　鈴木イミ子

人は皆泡立ち草を嫌うとも荒野一面黄金の花咲く　須藤　幸子

外遊び好きな曾孫は得意気分の靴はくしぐさが可愛い　佐藤　春枝

天文台通信

鮫川天文愛好会だより　vol. 8



ペルセウス座の２重星団「h・χ」。右側「h」、左側「χ」

ペルセウス座の２重星団「h・χ」（エイチ・カイ）は肉眼でもわかる大きな散開星団です。h・χを見つけるには「W」の形をしたカシオペア座からたどります。秋の東の夜空にはカシオペア座が縦になっています。その下側（東側）に淡く２つ並んだ星の集まり、h・χを見つけることができます。双眼鏡で見ると２つ並んだ星団が良く分かります。天体望遠鏡でさらに多くの星々と、星の色までわかることがあり、とてもきれいな星団です。寒くなってきましたが、冬は星空が美しく見える季節です。ぜひ鹿角平天文台へ足を運んでみてはいかがですか。

【観望の予約・問い合わせ先】
村農林商工課☎0247-49-3113

第2回
ここから、いっしょに
修明高校鮫川校だより

新 生徒会が発足 私たちが鮫川校を盛り上げます！



部活動に引き続き、生徒会役員も世代交代となりました。今後はこれまで以上に鮫川村の方々と一緒に様々な活動に取り組んでいきたいと思いますので、新執行部をよろしくお願いします。

役職・氏名・出身中学校（前列左から）副会長・吉田尭史さん（棚倉）、会長・須藤祐汰さん（古殿）、副会長・上野秀燿さん（西郷二）、（後列左から）会計・佐川竜也さん（鮫川）、書記・鈴木章太さん（東）、書記・森もみじさん（棚倉）、会計・大平雪乃さん（鮫川）

教員も学んでいます





どちらのテーマも、専門的に学んでいる教員が校内の教師を講じました

十月上旬、二つの校内研修が開催されました。一つは新しい学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」に関するもの、もう一つは、学級集団アセスメントQ-Uを活用した学級経営、生徒支援に関するものでした。生徒の学力向上、学校生活への更なる適応を目指して、鮫川校の教員はこれからも学び続けます。

SUCHEDULE
マラソン大会
とき…11月24日（金）
応援よろしくお願いします

文・写真／修明高校鮫川校
TEL 49-2029　FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp

文化財巡り基本の価値を知る古きを心に再認識と　石井　幸子

無情にと痛手の有りしもお祭りの奉納相撲は喜びと変え　須藤シツエ

雨多く心配するも無事実り黄金田美し喜び溢れる　前田喜三子

突然に友の夫に逝かれしも数多の牛に悲しむ暇なく　藤田千代子

巡り来る秋は館山喜びの花園もどきに様変わりぞする　板橋　源良

二度三度ガスの元栓確かめて今日は筋トレの教室にゆく　関根キヌ子

蜘蛛の巣に水滴つきてキラキラと女郎蜘蛛らし雲隠れかな　赤坂　和子

米寿よと祝う紅葉の手の様な曾孫の拍手に合わすか笑顔　矢吹　一二

秋風に稲穂は揺れる豊作よ低温しのぎし農のよろこび　北條　平

鮫川職場探訪記 - 第５回 -

有限会社本郷林業







1_ 現場では多様な重機が活躍します。このアームは掘る、つかむ、切るなど複数の動きが可能で、作業用の道を作るために先陣を切って山に入ります／**2_** 木は 50 年育ててやっと切ることが出来ます。建材からバイオマス燃料まで、木は余すことなく私たちの生活に活用されています／**3_** 本郷林業は、林業のことや、自然への理解を深めるために、高校生の実習なども受け入れています

木を育て、人を育て、山を守る

㈲本郷林業は、村内の国有林をはじめとした山林の管理を行っています。管理は、間伐など木を切る作業だけでなく、人の手による植え付けなど、木を育てる作業も行います。「木を切ること、森を育てること、山を守るためにはどちらも大切なことです」と、代表の本郷喜美さんは話します。また、林業は体と心の健康にも良いという喜美さん、「山の空気を吸って体を動かす、気持ちのいい仕事です」と笑います。

本郷林業では、研修制度による資格取得の支援など、人材育成にも力を入れています。「映画『WOOD JOB(ウッジョブ)』のように未経験でも安心してやっていけます」という職場はいつでも仲間を募集しています。

良質な木を育てるには、手間も技術も必要です。今日も本郷林業は鮫川の山で汗を流しています。

代　表　本郷　喜美
従業員　11 名
所在地　大字赤坂東野字戸草 298 番地1
電　話　49-2401　FAX　49-2420

若者の広場　No.155

Young Plaza

三瓶健太さん

★今、夢中になっていることは何ですか？

野球中継の観戦です。選手起用や交代の意図など、監督の采配を考えながら見ています。特に横浜DeNAベイスターズの試合に注目しています。最近では、広島戦の３戦連続サヨナラ勝ちが印象的でした。

★これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

普段行けないような遠くまで旅行してみたいです。歴史が好きなので、伝統のある所などを巡って、九州や京都など行きたいです。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

村の人たちは、皆優しくて、住みやすいところが好きです。小さい頃から知っている人が多く、よく声をかけてもらえて嬉しいです。

★鮫川村に要望などはありますか？

たくさん残っている自然をもっと活かして「自然と共存した村づくり」をしてほしいです。また、モトクロスのような鮫川発信の名物などがもっとできてほしいです。

優しい人に囲まれて住みやすい村



さんぺい・けんた
1997年２月生まれ　20歳
O型　みずがめ座
趣味は野球、ドライブ、旅行
赤坂東野字広畑

さめがわ人　No.19
Person

地域の応援に支えられ 夢の第一歩を踏み出す

Reve（レーヴ）パティシエ 青戸明美さん

あおと・あけみ　（29）富田字前沼



今年6月、道少田に新しくケーキ屋さんがオープンしました。白を基調とした店内には色とりどりのケーキや焼き菓子が並びます。「Reveというお店の名前は『夢』という意味を込めてつけました」そう話すのは青戸明美さんです。明美さんは「自分のお店を持つ」という長年の夢を叶えました。

専門学校のときから、お店を持ちたい、と強く思っていたという明美さんは、郡山のケーキ屋さんに勤めながら腕を磨き「30歳になるまでにやりたかった」と話すように、29歳を迎える今年、一念発起し起業に向けて動き出しました。

苦労したことは？と聞くと「苦労はあり過ぎて…」と、明美さんは苦笑します。「こうしてお店を始められたのは、地域の人の暖かさや応援に支えていただいたおかげです。『村にケーキ屋さんができてうれしい』と言って、何度も足を運んでくれる人もいて、頑張ってオープンして良かったです」と、明美さんは笑います。

明美さんの作るケーキは、味はもちろん素材にもこだわっています。果物は県内産のものを直接仕入れており、また、えごま、きなこ、大豆、梅など、村内の素材を活かしたレシピ作りにも積極的に取り組んでいます。

「生産者の方が一生懸命育てた素材をお客さまに提供し、お客さまは生産者の頑張りを見て安心して食べられる。そんなふうに生産者とお客さまが繋がるお店を目指しています」今後は村内の生産者ともっと連携していきたいと、明美さんは意気込みます。

また、カフェスペースを充実させて、訪れた人がゆっくり過ごせるような環境づくりにも力を入れていきたい、と明美さんの夢はまだまだ広がります。

もうすぐクリスマスです。村のケーキ屋さんは皆さまのご来店をお待ちしています。



オリジナルケーキの注文も受け付けています。写真や絵からデザインができます

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

「ねんきんネット」をご活用ください

「ねんきんネット」は、インターネットを通じてご自分の年金情報を手軽に確認できるサービスです。24時間、パソコンやスマートフォンから確認いただけます。

内容　▼ご自身の年金記録の確認▼将来の年金見込み額の確認▼電子版「年金定期便」の閲覧▼日本年金機構から郵送された各種通知の確認など。

利用方法　利用には「ねんきんネット」への登録が必要です。詳しくは「ねんきんネット」ホームページまたは専用ダイヤルでご確認ください。ねんきん定期便・ねんきんネット等専用ダイヤル☎0570-058-555

問白河年金事務所☎0248-27-4161

個人事業税納期のお知らせ

個人事業税とは、個人で事業を行っている人に課税される税金です。今回は、年税額が1万円以上の人に第2期分の納付書が送付されます。忘れずに納期限までに金融機関から納めてください。また、口座振替をご利用の人は、納期限までに預金残高の確認をお願いします。

納期限　11月30日㈭（第2期）

問県南地方振興局県税部課税課税第一チーム☎0248-23-1517

11月は「労働保険適用促進強化期間」です

農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用している雇用主には、労働者を雇用した日から労働保険（労災保険と雇用保険の総称）への加入が義務付けられています。これは、パートやアルバイトなど、正社員以外にも適用されますので、お手続き漏れのないようお願いします。

問県福島労働局総務部労働保険徴収室☎024-536-4607

第13回こころんアート展

日時　11月18日㈯10時～16時、19日㈰10時～15時

場所　生活支援センターこころん（泉崎村大字泉崎字下根岸9）

内容　▼展覧会・即売会▼各コーナー展示（カラーセラピー、お茶会、喫茶コーナー、こころや販売、体験コーナー）

入場料　無料

問生活支援センターこころん☎0248-54-1115

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。
11月の担当は――

鮫川小学校
保健委員会
舟木しずくさん（5年）
須藤颯歩さん（5年）
水野来美さん（5年）



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

災害時対応電話（停電・災害時）
49-3302・49-3303

住民福祉課	49-3112
農林商工課・農業委員会	49-3113
地域整備課	49-3114
議会事務局	49-3115
出納室	49-3116

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848
ゆうきの郷土	49-3474

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月のあおぞら号
昼バス運行日
11月29日、30日

■今月の納税
固定資産税（第4期）
国民健康保険税（第6期）
介護保険料（第6期）
後期高齢者医療保険料（第4期）
※納期限：11月30日（木）

information

県民手帳・県勢要覧を販売しています

県統計協会発行の「2018福島県民手帳」「福島県勢要覧」を販売しています。購入する場合は、代金を持参の上、役場総務課企画情報係または住民福祉課窓口でお求めください。

2018福島県民手帳▼価格…500円(税込)▼内容…月間ダイアリー、週間ダイアリー、統計データ(全国から見た福島県、県内市町村勢一覧など)、日常生活に役立つ便覧(災害発生時の連絡先、年齢早見表など)

福島県勢要覧(B6判)▼価格…1500円(税込)▼内容…県勢全般がわかる総合統計書。県および県内市町村の最新統計資料(自然、人口、産業、所得・物価・地価、行財政、環境、観光、復興のあゆみなど)。

問村総務課企画情報係☎49-3111

想いを言葉に「こころのうた」発行



村青少年健全育成推進協議会は「第22回少年主張大会」「第21回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第10回家族への短い手紙」の作品をまとめた「こころのうた」を作成しました。公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。

問村公民館☎49-3151

相談

予約年金相談について

日本年金機構では、全国の年金事務所で予約年金相談を実施しています。週の初めやお客さまへ各種お知らせが送付される時期など、窓口の混雑が予想されます。お客さまの都合に合わせて、スムーズにご相談いただくためにも事前にご予約のうえ、お越しいただくようお願いいたします。

問白河年金事務所☎0248-27-4161／ねんきんダイヤル☎0570-05-1165

ふれあい相談会

12月4日㈪～10日㈰まで、「人権週間」です。村では、村人権擁護委員が特設人権相談所を開設しますので、ぜひご利用ください。

人権擁護委員は、地域の皆さまから相談を受け、問題解決のお手伝いをします。相談は無料で、秘密は守られます。

日時　12月4日㈪9時～12時

場所　村公民館

相談内容　▼家庭内の問題▼隣近所のもめごと▼金銭賃借▼借地・貸家▼お年寄り・子どもの虐待▼いじめ▼不登校▼名誉侵害▼セクハラ・パワハラ問題など

問村住民福祉課☎49-3112／白河人権擁護委員協議会☎0248-22-1201

日頃の感謝を込めて 手・まめ・館大感謝祭



手・まめ・館は、11月5日㈰にオープン12周年を記念して感謝祭を開催します。直売所では感謝セールのほか、1,000円以上のお買いもの毎に先着500本の抽選券を配布します。食堂・カフェでも感謝を込めたサービスを行います。ぜひ、お立ち寄りください。

問村農産物加工直売所手・まめ・館☎49-2556

原子力損害賠償にかかる個別相談

実施日時　11月16日㈭13時30分～15時45分

場所　白河商工会議所

その他　相談は事前に電話で予約が必要です。相談日には東京電力が送付する「賠償金御請求書②」一式と、可能なら家屋の写真や建築図面などをご持参ください。

問県庁原子力損害対策課☎024-521-8216

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

体のコリのすべてが消える究極のストレッチ



中村格子著、日経BP社出版

筋肉や関節がどのようにつながり合い、バランスをとっているのかを理解することによって、日常の中でもこまめに姿勢を調節できるようになります。やればやるだけ体が軽くなる「究極のストレッチ」の効果を体験してみましょう。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。



川上和人著、新潮社出版

鳥類学者に必要なのはとにかく体力!出張先は火山にジャングル、無人島…!?耳に飛び込む巨大蛾、襲い来るウツボ、吸血カラスを発見したのになぜか意気消沈。アウトドア理系「鳥類学者」の知られざる毎日は、今日も命がけ。

火	水	木	金	土
	11/1	2	3 文化の日 ㊡金澤医院(矢祭町) ☎46-2312 ●鮫川村少年主張大会 ●音楽発表会 ●臨時休館日[図]・[ト]	4
7	8 ●やまゆり保育室[こ]	9	10	11
14	15 ●やまゆり乳児室[こ] ●おはなしの森… 16:00～[図]	16 ●わくわく図書館ひろば …16:00 ～ [図]	17	18
21	22 ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保]	23 勤労感謝の日 ㊡車田病院(塙町) ☎43-1019 ●ふる里文化芸能クラブ発表会… 8:30 ～ [公] ●臨時休館日[図]・[ト]	24	25
28	29 ●昼バス運行日[あ]	30 ●昼バス運行日[あ]	12/1 ●鮫川村文化祭展示 … 9:00 ～ 19:00[公] 5日正午まで	2 ●お遊戯会[こ]
5	6	7 ●やまゆり保育室[こ] ●やまゆり乳児室[こ]	8	9

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター　[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター　[あ]＝村営バス「あおぞら号」

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

◆11月の筋力づくり教室

開講時間　10：00 ～ 15：00[保]

Aコース(渡瀬・富田・赤坂中野)	11/ 1㊌、11/16㊍
Bコース(渡瀬・青生野)	11/ 7㊋、11/21㊋
Cコース(赤坂東野・石井草)	11/ 8㊌、11/24㊎
Dコース(西山)	11/ 9㊍、11/28㊋
Eコース(赤坂西野・赤坂中野)	11/14㊋、11/30㊍

問住民福祉課福祉係☎４９－３１１２

◆村関連施設営業時間

施設名	営業時間	定休日
村国保診療所	9：00 ～ 12：00 14：00 ～ 17：00	土・日・祝日
村図書館	9：30 ～ 18：00	月曜・祝日
村農業者トレーニングセンター	9：00 ～ 22：00	月曜・祝日
村農産物加工・直売所 手・まめ・館	9：00 ～ 18：00	第一水曜
手まめカフェ	10：00 ～ 18：00	水・木曜
村民保養施設さぎり荘	9：30 ～ 21：00	水曜

お誕生

９月届け出分



鏑木　皓太（こうた）・男
平 29.9.16 生
住所…伏木田
保護者…卓弥・妙子



芳賀　羽心（うみ）・女
平 29.9.21 生
住所…水口
保護者…峻・明日香

おくやみ

９月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
伏木田	水野　成男	9.8	89歳
岫長	北條　泰男	9.7	66歳
草牛	齊藤ヨシノ	9.12	91歳
宿ノ入	長井　進一	9.18	84歳
辺栗	生田目春雄	9.20	79歳
沼野沢	本郷　傳	9.23	88歳

人の動き

10/１現在・（　）は前月比

人口	3,540 人	（－15）
男	1,776 人	（－9）
女	1,764 人	（－6）
世帯	1,125 戸	（－1）

寄付寄贈

９月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…北條浩二（岫長）　水野貴広（伏木田）　齊藤義男（草牛）　鈴木保正（新宿）　長井良一（宿ノ入）　生田目昌信（辺栗）　本郷長（沼野沢）

■**ひだまり荘へ[紙おむつ]**…水野貴広（伏木田）　圓井節子（広畑）

■**ひだまり荘へ[福祉車両]**…市川自動車整備工場（白河市・代表取締役　市川洋行）

■**村長が必要と認める事業のために[金員]**…水野貴広（伏木田）

■**高齢者の生活、子育てを支援する地域づくりに関する事業のために[金員]**…廣瀬洋子（東京）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

編/集/後/記

■ここ数日、急激に寒くなってきました。青々としていた葉も赤くなり、空気が季節を教えてくれます。夏から秋にかけてイベントが続いていたこともあり、月日の流れをあっという間に感じます。（西橋）

November 11 暮らしのカレンダー

日	月
5 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 ●西山区紅葉まつり…11:00 ～ 第１日曜日は環境美化の日	**6**
12 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 ●秋季大火災防御訓練 ●鮫川の郷土料理を楽しむ会［公］	**13**
19 ㊡深谷クリニック（棚倉町）☎33-3223 ●ふくしま駅伝 ●親子読書教室…10:00 ～［図］	**20** ●心配ごと相談… 13:00～15:00［公］
26 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町） ☎33-9468 ●舘山周回駅伝競走大会	**27**
3 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145 第１日曜日は環境美化の日	**4**

◆村国保診療所送迎車運行日

曜日	月	火	水	木	金
地区	村内全域	赤坂西野 西山	赤坂中野 東石	青生野	富田 渡瀬

※送迎を希望する人は、前日までに申し込みください。

問村国保診療所☎４９－２０２８

◆乳幼児健診日

3～4カ月児健診※	11/13 ㊊
10カ月児健診※	12/ 7 ㊍
1歳6カ月児健診	平成 30 年　2/ 1 ㊍
3歳児健診	11/ 2 ㊍

※お母さんの口腔健康相談も行います

問住民福祉課福祉係☎４９－３１１２



半世紀の歩み Episode_26

矢吹寛さん すみ子さん

赤坂東野字広畑／1967(昭和42)年９月結婚

支えてくれた地域の皆さまに感謝

建具職人である寛さんは、「生涯現役！」と言って、75歳を迎えた今でも、毎日熱心に仕事をしています。新しい仕事がくると思わずニコニコしてしまうという寛さんですが、すみ子さんは、「一緒に出掛ける計画を立てても仕事を頼まれたら引き受けちゃうからダメ」と少々不満そうです。しかし「そういう所もお父さんらしいから」と、最後には許してしまうと言います。

２人の結婚50年について聞くと、「地域の人たちに支えられてきたおかげです」と口を揃えて言います。

東京で建具職人としての修業を終えて、鮫川村に戻ってきた２人の生活は、作業場の掘っ立て小屋から始まりました。畑も田んぼも持たず、あるのは寛さんの腕一本、そんな生活でしたが、地域の人や仕事にも恵まれて２人は忙しい日々を過ごしてきました。「お客さまには感謝の気持ちでいっぱいです」と話す２人。当時は寝る暇もないほど忙しく、３人の子どもを祖父母に預けて働くこともあったそうです。

「忙しくしてきたから今の生活があります」と笑うすみ子さん。最近は、孫の成長を見るのが楽しみだとか。「これからも、大きなことは望まず、お互い健康に過ごしていきたい」と寛さんも目を細めます。

広報 さめがわ Public Relations SAMEGAWA
11 November 2017
平成29年11月１日発行（毎月１日発行）
第763号（昭和27年９月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５